

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	－	－
		一般小売店〔靴・袋物〕（経営者）	・今後も海外からの観光客が増える傾向であると予想する。
		百貨店（営業企画）	・季節商材の入替えによる店頭品ぞろえの活性化と、震災後の反動による購買意欲の向上で良い方向に向かうのではないかとみている。
		スーパー（企画担当）	・来客数は前年比で8%ポイント増、売上も前年を10%ポイント増で前年を大幅に上回っている。震災の影響が顕著であった3～4か月前と比べ、来客数が大幅に増加していることから、今後の販売力は上向きになると見込む。
		コンビニ（経営者）	・東日本大震災による自粛ムードが弱くなり、客の動きが良くなる。また商品供給体制が安定してきているので良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・県内経済の震災の影響は薄れてきており、今後は回復に向かうと判断する。単価は安いながら、観光関連での押し上げがかなり期待できる。
		観光型ホテル（総支配人）	・団体客の減少を好調な個人旅行が補ってしており、前年比を上回ると予測している。海外からの観光客数も回復し、内外ともに旅行マインドが高まっていく傾向にある。
	ゴルフ場（経営者）	・円高などによる悪要因も結構あるが、大きな流れとしては、従来落ち込んだ部分の取り戻しによる上昇傾向にあると予想する。	
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	・物価上昇が続けば客単価が上がり、現状が続くのではないかと考えられる。しかし、来客数は依然マイナス続きであり、何ともいえない。
		コンビニ（エリア担当）	・売上と来客数の前年比に5%ポイントの開きが出ているが、これは好調なたばこの恩恵によるもので、来客数の割に売上は堅調に維持している。しかし、たばこ以外の商品の売上は前年を割っていることから、買い控えもまだまだ根強いものだと感じられる。
		衣料品専門店（経営者）	・売上の減少は底を打った感がある。客単価、一点単価共に前年並みであるが、街の方に人が少ないように見受けられる。これから先はどうなるか見当がつかないが、あまり変わらないものとみる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月同様に、稼働率において、前年実績並み若しくは、前年を上回る好調な状況が見込まれる。東日本大震災以降、非常に厳しい状況が続いていたが、この夏場は例年並みに回復してきている。沖縄県全体の観光マーケットとしても回復傾向にある。
		通信会社（店長）	・スマートフォンの動きが収まってくれば、冬の発売時期までは落ち着くとみられる。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・客は全国の景気などをみている様子があり、受注の決定には時間をかけて判断をしている。情報の収集など、競合他社との比較など行っていて、受注はより難しくなっているように感じられる。しかし、来場客数は前月等と比べても同様に推移しているので、先行きの景気もしばらくは変わらないと見込んでいる。
家電量販店（総務担当）		・エコポイント制度と地上デジタル放送開始前の買換え終了の反動による売上減が予想される。	
やや悪くなる	その他専門店〔書籍〕（店長）	・ここ3か月の売上の推移をみると、前年比を若干下回っている。この後の2、3か月も景気が良くなる要素は無く、期待は持てない。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街に観光客も一部戻ってきているが、東日本大震災後からずっと消費単価が落ちてきている感がある。地元客も同様の傾向で、今後も消費単価はそれほど上がらないと推測される。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	－	－
		輸送業（営業担当）	・地上デジタル放送開始需要による一時的な家電商品の取扱増や、住宅建設関連についても前年越えを維持していけば、ここ数か月は景気が上向くとみる。
		輸送業（代表者）	・東日本大震災の復興財源への予算の傾斜配分や、原燃料高騰など不安要素は多いが、上半期は順調とみている。
	通信業（営業担当）	・仕事が増え、契約案件を選べるような状況になれば、今後、より高い単価の契約が取れるようになると期待する。	
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共、民間共に大型物件工事予定が無く、個人住宅を主とした工事がある見通しである。	

	やや悪くなる	建設業（経営者）	・リフォームの相談件数及び弊社のモデルハウスへの来場組数の減少傾向が続くとみられる。
		コピーサービス業（営業担当）	・用紙、インク等が値上がりしており、今後も価格へ反映させるのは難しい。
	悪くなる	食料品製造業（管理部門）	・競合他社との競争激化が予想される。
雇用 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（総務担当）	・ここにきて、従来からの主要派遣先からの増員の注文や新規先からの注文、また業種を問わず派遣についての問い合わせが増えてきている。
		職業安定所（職員） 学校〔専門学校〕（就職担当）	・震災復興需要の波及を見込む。 ・引き続き本土企業の沖縄進出があることを期待する。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼は堅調に続いているが、契約終了の派遣先も同数出ており、数字的に大きな変化はないとみている。
	やや悪くなる	○	○
	悪くなる	—	—